

業界初 人造大理石製シンクへのディスポーザー対応開始

2016年2月よりディスポーザー対応 Berry 販売開始

トクラス株式会社（本社：静岡県浜松市、代表取締役社長：八幡 泰司）は、キッチンメーカーとして初めて、人造大理石シンクへのディスポーザー対応を可能にしたシステムキッチン「Berry（ベリー）」を、2016年2月1日に販売開始いたします。

ディスポーザーはキッチンの排水口に取り付けて、調理時の生ゴミを粉碎・自動排出する設備で、マンション入居者のゴミ処理負担を軽減することから、分譲マンション市場において、人気の高いアイテムです。

現在首都圏の新築分譲マンションにおけるキッチンのディスポーザー普及率は、約6～7割（トクラス調べ）にのびります。また一般的なディスポーザーの耐用年数は約7年といわれており、その交換需要も多く発生しています。

一方、当社が2002年に業界に先駆け発売をした、人造大理石製「マーブルシンク」（当時ヤマハリビングテック株式会社）は、清掃性やインテリア性の高さから発売以来順調に出荷台数を伸ばし、現在ではトクラスキッチンの100%にマーブルシンクが搭載されています。また、業界全体にも人造大理石製シンクが広まり、システムキッチン出荷台数の約17%を占めるまでに普及しています。（出展：2015年キッチン・バス工業会調べ）

このような背景から、マーブルシンクへのディスポーザー対応のご要望を多くいただいておりますが、寸法上の制約（マーブルシンクの厚みに対応可能なディスポーザーが無かった）でお応えすることができませんでした。

今回、ディスポーザーメーカーとの共同開発により、マーブルシンクへ取り付け可能な、新仕様のディスポーザーを開発。これによりキッチンメーカーとして初めて、人造大理石製シンクへのディスポーザー対応を可能にしたシステムキッチン「Berry」を発売します。

正式な発売開始は2016年2月1日を予定しており、それに先駆け2015年10月から特定物件に対しテスト販売を実施いたします。新築分譲マンション市場やディスポーザー交換のマンションリフォーム市場へディスポーザー対応キッチン「Berry」の提供により、キッチン事業の更なる広がりを目指してまいります。



↑ディスプレイ対応人造大理石製シンクを搭載したトクラスキッチン「Berry」



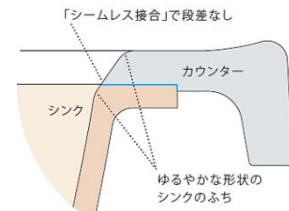
↑ディスプレイ対応人造大理石製マーブルシンク。カフェベージュ、グレー、イエローの3色展開。

参考資料

■ 人造大理石マーブルシンクの特長

○汚れがたまりにくい

カウンターとシンクの継ぎ目に、段差や隙間がないので、汚れがたまりません。



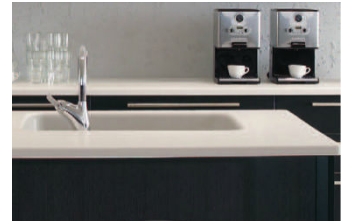
○長くキレイに使用できる

汚れ・衝撃・熱に強く、すりキズもリニューアルできるので、長くキレイに使うことができます。



○インテリア性が高い

ステンレスの冷たいイメージとは異なり、扉カラーやインテリアにあわせてシンクカラーを3色から選べます。



■ 問い合わせ先

トクラス株式会社

経営企画室 広報広告グループ

053-485-1561